

Good Choice

グッドチョイス

まちの話題をお寄せください。

総務課 広報広聴係 ☎75-2280 / FAX75-2110



◀ 1年の無病息災を願って行われた鬼火焚き(写真上)と、七草粥と女山大根を味わうみなさん(写真下)



伝統行事で無病息災を祈る

鬼火焚き・七草粥会・女山大根まつり

1月20日に西多久町で鬼火焚き・七草粥会・女山大根まつりが行われました。

まだ真っ暗な早朝、前日に組まれた青竹のやぐらに火が点火されると、炎が真っ赤に燃え上がりました。今年は小学生の参加もあり、はじめて見る鬼火焚きに「あったかい」と火にあたりながら振舞われたもちを食べ、1年の無病息災を願いました。

七草粥会・女山大根まつりでは、町内で採れた七草を使った温かい粥、幡船汁(しし汁)、伝統野菜である女山大根のふるふき大根となますを味わいました。町内はもちろん市内外からも多くの方が訪れ、「美味しい」と好評。まつりでは女山大根の品評会も行われました。

寒さと雨の中、ベストを尽くして力走

第50回多久市成人祝賀ロードレース大会

1月14日の成人の日、成人祝賀ロードレース大会が開催され、市内外から総勢470人が参加しました。

開会式では、横尾市長が「一人ひとりがベストを尽くして、チャレンジする気持ちで最後まで頑張ってください」とあいさつ。鳥井勝久財団法人多久市体育協会会長は「走るマナーを大切にしながら一人ひとりタイムを上げていく気持ちで頑張ってください」と選手たちを激励しました。

選手宣誓では、小林誠也さん(中央中、多久スポーツピアRC)が「僕たち選手一同は、日頃の練習の成果を十分に発揮し、競技することを誓います」と力強い宣誓を行いました。

当日はスタート前から雨が降る中での大会となりましたが、選手たちは頬を真っ赤にして力走。ゴール目の急な上り坂を力いっぱい走り、次々とゴールイン。コース沿道の観客から温かいエールが送られていました。

また、多久市商工会青年部を中心にした有志による豚汁のふるまいも行われ、選手たちの労をねぎらいました。



▲中学生の部で優勝した多久スポーツピアRCの西山嘉昌選手

1/13 団員一丸となって安心安全のために努力を

新春恒例の多久市消防団出初め式を行いました。横尾市長の観閲後、緑が丘小少年消防クラブを先頭に、団員が多久消防署から中央公民館まで行進しました。



式典では、昨年7月の豪雨災害での水防活動が認められ、消防団が国土交通大臣表彰を受けたことを報告。陣内成和団長は「今後も団員一丸となって訓練に精進し、安心安全のために努力してください」と訓示を述べました。

式典後の一斉放水では、団員の雄姿を見ようと牛津川河川敷に見物客が集まりました。

12/21 困っている方のために少しでも役立てて!

国際ソロブチミスト佐賀中部(会長 真子通子)より、多久市社会福祉協議会(会長 藤田和彦)へ歳末助け合い募金が寄附されました。



寄附金は会員の会費やバザーの収益金等で集められたもので、笹川澄子前会長らが社会福祉協議会を訪れ、「困っている方のために少しでも役立ててください」と、北島高美事務局長に手渡しました。北島事務局長は、「生活困窮者や交通遺児のみなさんへ歳末見舞金として配分させていただきます」とお礼を述べました。